

相良村

中学生向け

男女共同参画計画

(第2次)

一人ひとりが尊重され、
自分らしく生きられるむら



令和4年
相良村

相良村男女共同参画計画をつきました

相良村では、国の「男女共同参画社会基本法」第十四条第三項に基づき、男女が相良村のあらゆる分野に参画していくために必要な取組を定めた「相良村男女共同参画計画」をつくりました。

男女共同参画社会って何？

「男女共同参画」とは、『男女がたんに一緒に活動に参加するだけではなく、より積極的に意思決定過程に加わること』を意味します。

そして、「男女共同参画社会」とは、男女が社会の対等な構成員として、仕事や家庭、地域など、あらゆる分野に参画し、均等に利益を受けることができる社会のことです。これは、性別によって差別しない「男女平等」に加えて、一人ひとりの意思や能力を尊重しみんなが活躍する社会でもあります。

この男女共同参画社会の形成は、国際的に重要な課題とされており、日本でもさまざまな取組が行われています。



男だから女だからじゃなくて
お互いを尊重し合いながら
みんなが活躍することが大事なんだね

計画をつくってどうするの？

計画には、相良村の現在の状況や社会の動きなどをふまえて、相良村が男女共同参画社会の形成を実現するために、何を目標とするか、どんなことに取り組むかがまとめられています。

これからは、目標を実現するべく、計画に基づき村の男女共同参画に関するさまざまな取組をすすめていきます。



相良村の目標と取組

基本目標

**一人ひとりが尊重され、
自分らしく生きられるむら**

重点目標1 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり

重点目標2 男女が共に参画する社会づくり

重点目標3 健康で安心して暮らせるむらづくり

重点目標4 女性が活躍し男女が共に働きやすい環境づくり

重点目標5 男女におけるあらゆる暴力の根絶

目 標

性別によらず個人が尊重され、一人ひとりの意思と能力によって活躍する男女共同参画社会の実現を目指すため、村では「一人ひとりが尊重され、自分らしく生きられるむら」を計画の基本目標とし、すべての人がお互いを思いやる心を持ち尊重することで、住民の誰もが自分らしく活躍でき、いきいきと暮らせるむらをつくります。

取 組

男女共同参画社会の実現のためには、男女共同参画に関するPR活動や、地域・職場での活動の推進、家庭内での助け合いの促進など、さまざまな取組が必要です。

これらの取り組むべきことを分野ごとに整理し、5つの重点目標としてまとめました。

重点目標1 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり

男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画について学び、人権を尊重する意識を持つことが重要です。男女共同参画についての正しい理解を促進するための周知・啓発や、男女共同参画教育を推進します。

重点目標2 男女が共に参画する社会づくり

様々な場面での男女共同参画を推進し、男女が共にあらゆる分野に参画し活躍する社会をつくりまします。

重点目標3 健康で安心して暮らせるむらづくり

生涯を通じた心と体の健康づくりを推進するとともに、妊娠や出産といった性別特有の健康上の問題があることを踏まえ、性別や年齢を超えた幅広い支援の充実に努めます。すべての人が安心して暮らせるむらをつくりまします。

重点目標4 女性が活躍し男女が共に働きやすい環境づくり

活力ある社会を作るためには、男女が共に自分に合った働き方ができる環境を作ることが重要です。女性が活躍しやすい環境づくりや、仕事と家庭や地域での生活を両立させるための支援、働く場での男女共同参画などに取り組み、誰もが働きやすい環境づくりを推進します。

重点目標5 男女におけるあらゆる暴力の根絶

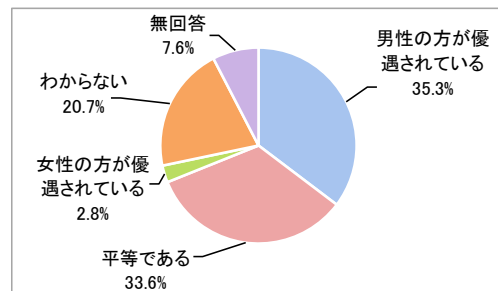
家庭内暴力（ドメスティックバイオレンス）をはじめとする、男女間におけるあらゆる暴力の根絶を推進します。

アンケート結果と村の目標

計画をつくるにあたり、20歳以上の住民の方と中学3年生に、令和3年6月～7月に、それぞれアンケート調査を行いました。その結果の一部をご紹介します。また、村民向けアンケートの結果を元に、令和7年度までに達成すべき目標を設定しました。

【住民向けアンケート】男女の地位の平等感

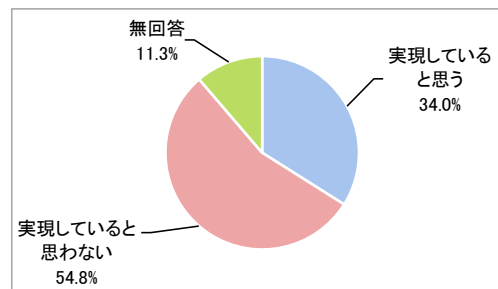
男女の地位の平等感については、「男性の方が優遇されている」と感じる人が35.3%と、「平等である」、「女性の方が優遇されている」と感じる人の割合より高くなっています。



目標 「平等である」と考える人の割合 33.6% → 50%

【住民向けアンケート】男女共同参画社会の実現度

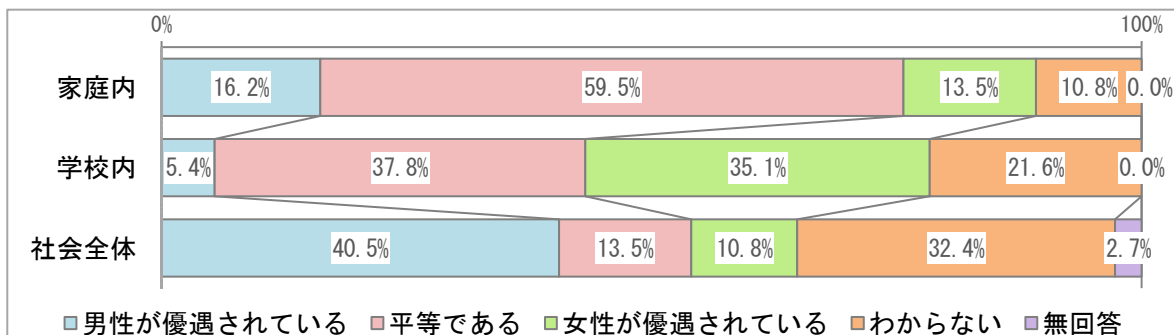
男女共同参画社会の実現度については、「実現していると思う」人が34.0%、「実現していると思わない」人が54.8%と、実現していると思わない人の割合が上回っています。



目標 「実現していると思う」人の割合 34.0% → 50%

【中学生向けアンケート】さまざまな場面での男女の平等感

家庭内では59.5%が「平等である」と考えていますが、学校内では、「平等である」が37.8%、「女性が優遇されている」が35.1%と差がなく、社会全体では「男性のほうが優遇されている」の割合が高くなっています。



考えてみよう！男女共同参画！

次のそれぞれの場面について男女共同参画の視点で考えてみましょう。

自動車整備士になりたいって話したら
「女の子なのに珍しいね」と言われた。



point 「女だから」「男だから」ではなく、「自分が何をやりたいか、何ができるか」を大事にして考えてみよう。



恋愛ものの少女マンガが好きだけど
友だちに「男のくせに変だ」と
からかわれた。

point 性別で決めつけず、一人ひとりが違う考えや趣味、好みを持っていることを認識し、相手の個性を大事にして考えてみよう。

うちは父も母も働いていて、家事はみんなで協力している。
家族はみんな、お母さんの仕事を応援していて、
うちに合った形でやっていこうと話してある。



point 家族全員が協力して毎日の生活を送ることで、みんなが、いろいろな場でいきいきと活躍することができます。